

新宮市・東京大学大学院人文社会系研究科・文学部連携協定締結記念
東大人文・熊野フォーラムin本郷(第二回)

災いと救い：聖地の生成と変容

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部では、長年の北海道常呂町(現北見市)での地域連携活動に続き、熊野地方での数年間の試行を経て、2021年3月22日に新宮市と連携協定を締結し、人文知を応用しての地域連携活動の拡充を目指した活動を展開することとなりました。当初1月に予定されていた協定締結記念フォーラムは、新型コロナ禍のために延期されましたが、今回、登壇者対面+オンライン配信という形で11月20日(土)に開催されます。

聖地は、疾病の流行や天変地異に際して、そのあり方を変容させつつ、人々に救いをもたらしてきました。新型コロナウイルスの感染が未曾有の展開を見せ、かつてない戸惑いの中に立ち尽くす中で、私たちは傍観者ではなく、当事者として聖地についても向き合うことを迫られているように思われます。今回の東大人文・熊野フォーラムでは、さまざまな災いからの救いを求める人々に、臨機応変に対応してきた聖地の生成と変化を、過去の事象としてだけでなく、今日なおアクチュアリティのある課題と捉え、議論できれば幸いです。

プログラム

10:30～

連携協定締結記念行事

田岡実千年(新宮市長)
藤井輝夫(東京大学総長)
大西克也(人文社会系研究科前研究科長)
進行役:秋山聰(人文社会系研究科長)

記念講演

速水盛康(新宮市教育長・熊野学研究委員会歴史部会委員)
「世界遺産・熊野の聖地信仰:その価値と意義」

<昼食休憩 12:00～13:00>

13:00～

趣旨説明

進行役:松崎照明(金沢美術工芸大学客員教授)
秋山聰(東京大学教授)「聖地の生成と変容」

研究報告

市川裕(東京大学名誉教授)

「三つの一神教徒に愛された聖地エルサレム」

水野千依(青山学院大学教授)

「天の原型を計測するー悔悛と救済への道程(ductus)」

14:45

山本殖生(国際熊野学会代表委員)

「聖地熊野の創造力:癒しの霊場の唱導と救済」

佐藤弘夫(東北大学教授)

「名取老女伝説の誕生:熊野信仰の東国伝播」

16:15～

那智参詣曼荼羅の絵解き実演

生熊みどり(熊野・那智ガイドの会) 解説:山本殖生

16:50～18:00(終了予定)

ディスカッション

進行役:松崎照明/秋山聰